

## 東邦大学医療センター大森病院臨床研修プログラム

### 消化器内科後期研修コース（大森）

#### 募集定員

若干名

#### コースの特徴

消化器内科専門医育成を目的とした専門研修を行う。専門医指導により、消化器病学における幅広い知識と技術を習得できる。当科の特徴は、グループ別診療制による消化管・肝・胆・膵にわたる多彩な疾患を経験することが可能であり、疾患の病態生理や治療を実際の診療を通して習得でき、第一線の実地医療の現場で直ちに役立つ消化器内科医を養成するよう工夫されていることにある。本コースにより日本内科学会認定医および日本消化器病学会専門医はもちろんのこと、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本超音波医学会専門医などを取得するための十分な症例数を経験できるよう配慮されている。上・下部消化管内視鏡検査および内視鏡治療・腹部超音波・腹部血管撮影および血管内肝癌治療の手技を獲得し、肝臓癌ラジオ波焼灼術などの専門医療を習得することができる。

#### 研修カリキュラム

##### 1年目

###### 病院名・診療科

東邦大学医療センター大森病院 総合診療科

###### 研修期間

1年

###### 習得内容

内科総合医として、専門医としても基礎になる内科全般の能力を身につける。

##### 2～3年目

###### 病院名・診療科

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科、あるいは恩賜財団済生会横浜市東部病院 消化器内科（教育関連病院）、東京労災病院 消化器内科（教育関連病院）、JCHO 東京山手メディカルセンター 消化器内科（教育関連病院）、日産厚生会玉川病院 消化器内科（教育関連病院）、JCHO 東京蒲田医療センター（教育関連病院）

###### 研修期間

2年

###### 習得内容

消化器疾患全般にわたる病態生理治療を理解する。腹部超音波検査や消化管X線造影検査、上部消化管内視鏡検査、肝生検など、消化器病の診断に必須の検査を習得する。

（最短で2年目に認定内科医の受験が可能となる。症例が足りない場合は2年目で配慮する。）

##### 4年目

###### 病院名・診療科

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

#### 研修期間

1年

#### 習得内容

消化器全般にわたる専門医療消化器内科のサブスペシャリティ(上・下部消化管・肝・胆・膵)の専攻を確立する;超音波内視鏡、EMR、ESD、EVL、EST、PTCD/PTGBD、腹部超音波、PEIT、RFA、TAEなどの介助者あるいは実施医等。下級医の準指導医となる。

#### 5年目

#### 病院名・診療科

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

#### 研修期間

1年

#### 習得内容

消化器全般にわたる専門医療消化器内科のサブスペシャリティ(上・下部消化管・肝・胆・膵)をさらに向上させ、超音波内視鏡、EMR、EVL、EST、PTCD/PTGBD、腹部超音波、PEIT、RFA、TACE、リザーバー動注化学療法などの実施医を目指す。4年目同様下級医の準指導医を継続する。

#### 内科認定医および消化器各サブスペシャリティの認定医/専門医

#### 週間予定

外来診療	月曜日～土曜日 (第3土曜日は休診)	午前(9:00～)	初診・再診
	月曜日～金曜日	午後	再診
	(救急患者に対しては専任担当医が随時対応)		
検査・治療部門	上・下部内視鏡	月曜日～金曜日	午前(9:00～)・午後
	上・下部内視鏡	土曜日	午前(9:00～)
	腹部超音波	月曜日～金曜日	午前(9:00～)・午後
		土曜日	午前(9:00～)
	内視鏡治療・EUS	月曜日～金曜日	午後
	ERCP・胆膵内視鏡	水曜日、木曜日	午前・午後
	血管造影 (含むTACE・リザーバー留置・導入)	月曜日～金曜日	午前・午後
	PEIT・RFA	火、水、金曜日	午後

	CT	火、木曜日 (緊急症例は随時対応)	午前・午後
教授回診	金曜日	13 : 30～15 : 30	消化器病棟：五十嵐教授
カンファレンス	金曜日	18 : 00～20 : 00	腹部超音波肝疾患検討会
	木曜日	18 : 00～20 : 00	内視鏡検討会(五十嵐教授)
勉強会	水曜日 18 : 30～20 : 00	症例検討会、CPC、予演会、研究発表会、医局会など(全医局員)	

### 指導責任者と教育関連病院・施設

東邦大学医療センター大森病院

総括指導責任者：五十嵐 良典 教授

済生会横浜市東部病院

指導責任者： 牧野 博之 部長

東京労災病院

指導責任者： 児島 辰也 内科部長、副院長

JCHO 東京山手メディカルセンター

指導責任者： 畑田 康政 消化器内科部長

日産厚生会玉川病院

指導責任者： 三浦 富宏 部長

JCHO 東京蒲田医療センター

指導責任者： 石井 耕司 消化器内科部長、院長

### コースの実績（学位及び専門医等の取得状況等）

当科では、卒後 12 年以上の医局員 25 名中の 23 名が学位を有している。日本内科学会認定医に関しては、卒後 8 年以上の医局員 40 名中 38 名が、日本消化器病学会専門医については、卒後 12 年以上の医局員 25 名中の 25 名が、日本消化器内視鏡学会専門医については、卒後 12 年以上の医局員 25 名中の 24 名がそれぞれ取得している。

### コースの指導状況

大学病院・関連病院ともに高度の専門性と豊富な指導医がおり経験豊富な指導医の元で、一人の指導医に偏らず、指導を受けられる。大学院生も積極的に受け入れている。研究と臨床研修がバランスよく行えるようなカリキュラムを個別に作成している。当科には 7 名（米国）の海外留学経験者が在籍している。臨床・教育・研究とバランスよく指導している。がんプロフェッショナル事業などにも積極的に人材を派遣し協力している。

### 大学院と海外留学について

大学院生は積極的に受け入れている。指導教授(五十嵐教授)が研究テーマを選定し学位の取得に努めている。大学院入学希望者は後期研修前にその旨を指導教授に伝える。研究と臨床研修がバランスよく行えるようなカリキュラムを個別に作成している。当科には 7 名（米国）の海外留学経験者が在籍している。海外留学希望者はその旨を医局管理運営責任者に伝える。希望者には個別にカリキュラムを作成し、積極的に海外留学も行えるようにしている。

## 評価及び修了認定

年度ごとにプログラム指導責任者と管理運営責任者が研修の進捗状況を評価する。最終的には日本消化器病学会専門医、または日本消化器内視鏡学会専門医資格を取得することにより、消化器内科としての修了認定としている。

## 認定医・専門医の取得等

学会等名	日本内科学会
資格名	日本内科学会認定医
資格要件	教育病院 3 年以上、JMECC 履修等
専門資格の概要	
必修化された臨床研修 2 年は教育病院での研修扱いとする。当該学会が認定した教育病院（大学病院含む）における後期研修プログラムの一環として無認可病院へ派遣された措置がある（1 年以内の派遣に限る）	

学会等名	日本内科学会
資格名	日本内科学会認定総合内科専門医
資格要件	認定内科医資格取得後、認定教育病院での研修 3 年以上
専門資格の概要	
認定内科医資格取得後、認定した教育病院（内科臨床大学院含む）での内科研修 1 年以上 + 認定教育関連病院での内科研修 2 年以上 = 計 3 年以上(卒後 6 年以上)	

学会等名	日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本消化器内視鏡学会、日本超音波医学会、米国消化器病学会、米国肝臓病学会
資格名	消化器病専門医、肝臓専門医、消化器内視鏡専門医、超音波専門医、米国消化器病学会会員、米国肝臓病学会会員
資格要件	内科認定医取得後・各所属学会 5 年以上
専門資格の概要	
各関連学会の専門医・指導医・評議員が在籍しており、十分な教育が可能である。また各期の学会への参加も積極的に行ってている。	